

編集後記

第五十二巻第四号をお届けする。今年度、学会誌の出版助成として科研費百五十万円が許可されているが、英文投稿が義務づけられている。本号においては鈴木晃仁氏が英文投稿されているが、会員の皆様方には、邦文のみではなく、積極的な英文投稿もお願いしたい。日本医史学雑誌が「国立情報学研究所電子図書館サービス」に参加することが決定しているが、それは世界中の医史学研究者がパソコンを媒介として日本医史学雑誌の情報をリアルタイムに受け取ることが出来るということを意味している。世界的に権威ある日本医史学雑誌として成長することを望んでやまない。

この編集後記を書いている今、高校の世界史未修問題が騒がれている。医療関係に入学してくる学生の中に、最近急にジュリアス・シーザーやルネッサンスはおろか太平洋戦争も知らない学生が多くなり、医史学講義が立ち往生するケースがしばしばあった。どんなに医療倫理の必要性がさげばれても、ヒポクラテスの背景が全くわからなければその意味は半減するし、医史学に興味を持つ学生もますます減ってしまう。高校の世界史課程の必修正常化を是非望みたい。

(西巻 明彦)

訂正のお願い

日本医史学雑誌第五十二巻第三号に誤植がありました。

ご訂正をお願いいたします。

書籍紹介文

一・四七一頁 四行目 (誤) 九大 ↓ (正) 東大

二・四七二頁 著者名および一行目 (誤) 二宮睦雄 ↓

(正) 陸雄